JVC

取扱説明書

USB/CDレシーバー

型名 KD-C505-B

デモ表示について

本機を20秒以上操作しないと、自動で表示窓がデモ表示に変わります。解除するときは、***38***ページの「SELボタンを使った各種設定と調節」をご覧になり「DEMO OFF」に切り換えてください。
詳しくは***38***ページの「PSMモードの一覧」をご覧ください。

〈お知らせ〉

● お買い上げ時は、コントロールパネルが本体から外れています。***44***ページの「コントロールパネルの着脱」をご覧になり、本体に取り付けてください。

WMA　MP3

－ お買い上げありがとうございます －

⚠ご使用の前に

この「**取扱説明書**」と別紙の「**取付説明書**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

GET0387-001B

もくじ

安全上のご注意 ―はじめにお読みください―

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

● 絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意

手をはさまれないよう注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

行為を指示する記号

一般的指示

安全上のご注意(つづき) −はじめにお読みください−

⚠警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。

・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。

・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。

・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しない。

・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電源容量オーバーにより火災の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。

・事故・火災・感電・故障の原因となります。

車内に飲みかけのパック飲料等を放置しない。

・カップホルダーの取付位置によっては、こぼれた飲料が本機の内部に入り発煙や発火・故障の原因となります。

音が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。

・万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起こったら、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。

・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

自動車を運転中に音量調節などの操作をしない。

・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

⚠注意

本機の通風孔や放熱板をふさがない。

・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。

・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

ディスク挿入口に異物を入れない。

・火災や感電・故障の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手や指を入れない。

手をはさまれないよう注意

・けがの原因となることがあります。

本機を車載用以外には使用しない。

・感電やけがの原因となることがあります。

指定の電池以外は使用しない。

・電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れる。

・間違えると電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

リチウム電池を廃棄するときは、電池に絶縁テープ等を張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄する。

・他の金属片等と、そのまま一緒に廃棄するとショートして発火、破裂の原因となることがあります。

電池をショートさせたり、分解や加熱をしたり、火や水の中に入れない。

・電池の破裂、液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

使用上のご注意

- **本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。**

- **スピーカーは、アンプの出力(1チャンネル当たり50W)に対し入力に十分余裕があり、インピーダンスが4Ω〜8Ωのものをお使いください。**

- **次のような場所は避けて取り付けてください。**

・直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
・雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気の多い所
・ほこりの多い所

- **安全運転のために…**

・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また**操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。**
・ステレオの音量は、お客様の心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

- **車内の温度は…**

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、ディスクを使用するときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。
(使用温度範囲:0℃〜+40℃)

- **バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。**

- **結露(つゆつき)について**

次のような場合、本機のレンズなどが結露してディスクが正常に再生できないことがあります。
・エアコン(暖房)を入れた直後
・湿気が多いとき
このようなときは、電源を入れたまま約1〜2時間待ってからお使いください。

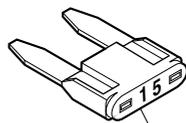
- **海外での使用は…**

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

- **スピーカーコードの接続について**

本機はBTL(ビーティーエル)*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ず**別紙の取付説明書**の通りにしてください。
既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの⊖(マイナス)側が車の金属部に接続されていたり、⊖(マイナス)側同士が接続されていると故障の原因になります。
***BTL:Balanced(バランスド) Transformerless(トランスフォーマーレス)の略**
2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

- **ヒューズの交換について**

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。

ヒューズ(15A)

- **携帯電話を使用する場合は…**

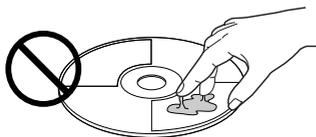
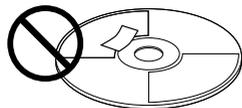
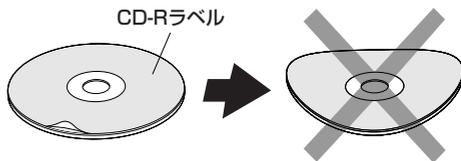
携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。ただし、**運転中に携帯電話を使用すると、法律により罰せられます。**

ディスクの取扱いについて

- **CD/CD-R/CD-RWを保管するときは**
  専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。

- **CD-R/CD-RWの取扱いについて**
  CD-Rや**CD-RW**は、通常の音楽**CD**より反射膜が弱いため傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取扱いには十分注意してください。

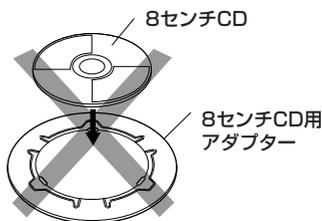
- **次のようなディスクは使用しないでください。本体内部にディスクが張り付いて取り出せなくなったり、大切なディスクが反って音飛びしたりディスクに傷がつく原因となります。**

  ・中古ディスクやレンタルディスクでシールなどのノリがはみだしたり、シールをはがしたあとにノリが付着しているもの。
  またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの

  ・レンタルディスクでシールが張ってあるもの（特にめくれているもの）

  ・記録面に保護シールなどを張ってあるもの
  ・ラベル面に**CD-R**ラベルなどのラベルやシールを張ったもの

CD-Rラベルなどが張ってあると、本機内部の温度上昇によりディスクが反って音飛びや再生停止などを起こすことがあります。

  ・ラベル面に印刷できるインクジェットプリンター対応CD-R（印刷したもの）

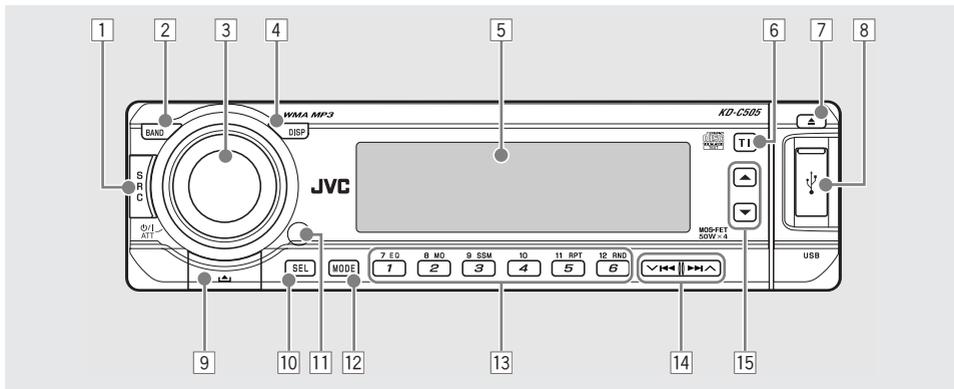
※CD-Rラベルや印刷可能CD-Rの「使用上のご注意」などをよくお読みになり、正しくお使いください。

- **ハートや花などの形をした特殊形状のディスクは、絶対に使用しないでください。**
  円形以外のディスクを使用すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

- **8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。**
  8センチCDは、そのまま挿入してください。

- **ディスクを長時間使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。**

コントロールパネルの使いかた

各部の名前

－( )内のページに説明があります。－

1 SRC(ソース)ボタン(***12***、***14***、***19***、***21***、***30***、***34***、***37***)
ソース(音源)を選ぶとき押します。押すごとに次のように切り換わります。

*1 本機にディスクが入っているとき選べます。
*2 本機にUSBメモリーを接続しているとき選べます。
*3 本機にCDチェンジャーを接続しているとき選べます(➡***30***ページ)。
*4 本機にiPodを接続しているとき選べます(➡***34***ページ)。別売りのインターフェースアダプター:KS-PD100が必要です。
*5 本機にビクター製のD.PLAYERを接続しているとき選べます(➡***34***ページ)。別売りのインターフェースアダプター:KS-PD500が必要です。
*6 外部機器設定(➡***40***ページ)を「EXT IN」に設定すると、「EXT IN」が選べます。別売りの変換コード:KS-U57/KS-U58が必要です。

2 BAND(バンド)ボタン(***12***、***14***)
ソース(音源)がラジオのとき、バンドを切り換えます。押すごとに次のように切り換わります。

3 **⏻/I 電源ボタン**(***12***)
電源を「入/切」するとき押します。「切」にするときは1秒以上押します。

ATT(アッテネーター)ボタン(***12***)
一時的に音量を下げるときは「ポン」と押します。

回転ボリューム(***12***、***13***、***38***)
・音量を調節するとき回します。
・メニュー表示中は、設定値の調節をすることができます。

4 DISP(ディスプレイ)ボタン
・表示窓(ディスプレイ)の表示を変えるとき押します。(***18***、***28***、***30***、***34***)
・放送局名/ディスク名を登録するとき押します。(***43***)

5 表示窓(ディスプレイ)

6 TI(交通情報)ボタン(***18***)
交通情報を聞くとき押します。

7 ⏏(ディスク取出し)ボタン(***19***、***29***)
ディスクを取り出すときや挿入するとき「ポン」と押します。

8 USB端子(***21***)

9 ⏏(コントロールパネル取り外し)ボタン(***44***)
コントロールパネルを取り外すとき押します。

10 SEL(セレクト)ボタン(***13***、***38***、***42***、***43***)
音量･音質調節のモードが選べます。2秒以上押すと、時計合わせなどの各種設定モードになります。

11 リモコン受光部(***10***)

12 MODE(モード)ボタン

- 数字ボタンの働きを一時的に変えることができます。(***15***、***16***、***26***、***27***、***32***、***33***、***36***、***41***)
- ▲/▼ボタンの働きも一時的に変えられます。(***23***、***31***)

13 数字ボタン

- **CD**の曲番号、**MP3/WMAディスク**と**USB**のフォルダ番号、**CD-CH**のディスク番号、ラジオのプリセット番号を選ぶとき押します。(***17***、***22***、***25***、***31***)
- 「MODE」が点滅表示しているとき、ファンクションボタンとして働きます。(***15***、***16***、***26***、***27***、***32***、***33***、***36***、***41***)

14 ►►I∧/∨I◄◄ ボタン

ソース(音源)や表示されるメニューによって働きが異なります。

ソース(音源)	►►I∧ / ∨I◄◄ ボタン
「CD」 「USB」 「CD-CH (チェンジャー)」 「IPOD (アイポッド)」 「D.PLAYER (デジタル オーディオ プレーヤー)」	・押し続けると早送り/早戻し再生になります。 ・「ポン」と押すと曲(ファイル)の頭出しができます。 **iPod、またはD.PLAYERでメインメニューを表示中は** ・押し続けると項目を10ずつ飛ばして選択できます。 ・「ポン」と押すと項目をひとつずつ選択できます。
ラジオ	・「ポン」と押すとオート選局になります。 ・押し続けると、マニュアル選局になります。

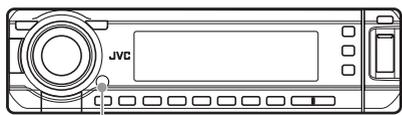
15 ▲/▼ボタン

ソース(音源)や表示されるメニューによって働きが異なります。

ソース(音源)	▲/▼ ボタン
「CD」 「MP3対応 CD-CH」 「USB」	**MODEボタンを押した後に▲/▼ボタンを押すと** 曲を10ずつ飛ばして選べます。 **MP3/WMAディスク、またはUSBメモリーでは** 再生するフォルダが切り換わります。
「IPOD」	**▲ボタンを押すと** メインメニューを表示します。 **▼ボタンを押すと** ・再生/一時停止ができます。 ・メインメニュー表示中は、選択した項目を決定します。
「D.PLAYER」	**▲ボタンを押すと** メインメニューを表示します。 **▼ボタンを押すと** ・再生/停止ができます。 ・メインメニュー表示中は、選択した項目を決定します。
ラジオ	プリセット選局ができます。

リモコン(RM-RK50)の使いかた

使用上の注意

● コントロールパネルのリモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。

● 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
● 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください。(動作しないことがあります)
● **リモコンに付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池(CR 2025:市販品)と交換してください。**

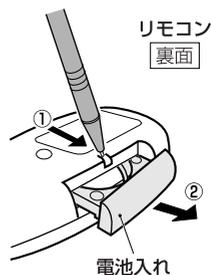
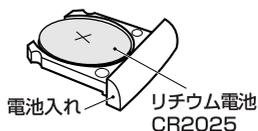
ご注意

● 長時間直射日光が当たる場所(ダッシュボードの上など)に、リモコンを置かないでください。変形や故障の原因となります。

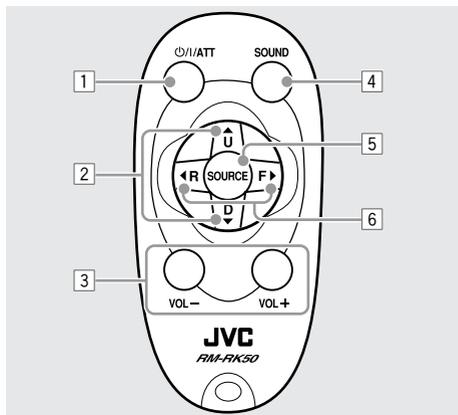
電池の入れかた

ボールペンなどをリモコン裏面の溝に入れて電池入れを押し出す。

・+(プラス)側を上にする。

・リモコンに差し込む。

● 電池の交換時期(目安)は…

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。
使用済みの電池は、絶縁テープなどを張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

各部の名前

1 **⏻/I 電源ボタン**
電源を「入/切」するとき押します。「切」にするときは1秒以上押します。

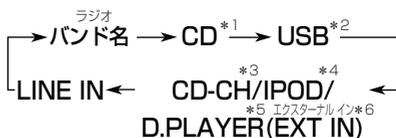
ATT(アッテネーター)ボタン
一時的に音量を下げるときは「ポン」と押します。

2 **▲U(アップ)/D(ダウン)▼ボタン**
ソース(音源)や表示されるメニューによって働きが異なります。

ソース(音源)	▲U/D▼ボタン
「CD」 「CD-CH(チェンジャー)」 「USB」	**MODEボタンを押した後に▲U/D▼ボタンを押すと** 曲を10ずつ飛ばして選べます。 **MP3/WMAディスク、またはUSBメモリーでは** 再生するフォルダが切り換わります。
「IPOD(アイポッド)」	**▲Uボタンを押すと** メインメニューを表示します。 **D▼ボタンを押すと** ・再生/一時停止ができます。 ・メインメニュー表示中は、選択した項目を決定します。
「D.PLAYER(デジタルオーディオプレーヤー)」	**▲Uボタンを押すと** メインメニューを表示します。 **D▼ボタンを押すと** ・再生/停止ができます。 ・メインメニュー表示中は、選択した項目を決定します。
ラジオ	**▲Uボタンを押すと** バンドが切り換わります。 **D▼ボタンを押すと** プリセット選局ができます。

3 **VOL(ボリューム)＋/−ボタン**
音量の調節ができます。

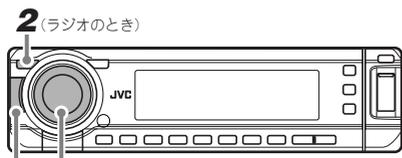
4 **SOUND(サウンド)ボタン**
C-EQ(➡*41*ページ)を使うとき押します。EQパターンがダイレクトに選べます。

5 **SOURCE(ソース)ボタン**
ソース(音源)を選ぶとき押します。押すごとに次のように切り換わります。

*1 本機にディスクが入っているとき選べます。
*2 本機にUSBメモリーを接続しているとき選べます。
*3 本機にCDチェンジャーを接続しているとき選べます(➡*30*ページ)。
*4 本機にiPodを接続しているとき選べます(➡*34*ページ)。別売りのインターフェースアダプター:KS-PD100が必要です。
*5 本機にビクター製のD.PLAYERを接続しているとき選べます(➡*34*ページ)。別売りのインターフェースアダプター:KS-PD500が必要です。
*6 外部機器設定(➡*40*ページ)を「EXT IN」に設定すると、「EXT IN」が選べます。別売りの変換コード:KS-U57/KS-U58が必要です。

6 **◄R(リバース)/F(フォワード)►ボタン**
ソース(音源)や表示されるメニューによって働きが異なります。

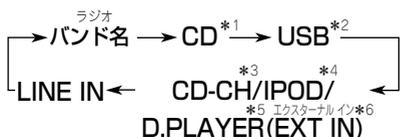
ソース(音源)	◄R/F►ボタン
「CD」 「USB」 「CD-CH」 「IPOD」 「D.PLAYER」	・押し続けると早送り/早戻し再生になります。 ・「ポン」と押すと曲(ファイル)の頭出しができます。 **iPod、またはD.PLAYERでメインメニューを表示中は** ・押し続けると項目を10ずつ飛ばして選択できます。 ・「ポン」と押すと項目をひとつずつ選択できます。
ラジオ	・「ポン」と押すとオート選局になります。 ・押し続けると、マニュアル選局になります。

基本操作

準備 ● 車のエンジンをかける。本機はエンジンキーが「OFF」または「ACC OFF」の状態では電源を入れることができません。

1 を押して電源を入れる

表示窓が点灯し、電源を切る前のソース（音源）が表示されます（初期設定「FM1」）。

2 を押してソース（音源）を選ぶ

押すごとに、次のようにソース（音源）が切り換わります。

*1 本機にディスクが入っているとき選べます。
*2 本機にUSBメモリーを接続しているとき選べます。
*3 本機にCDチェンジャーを接続しているとき選べます（➡**30**ページ）。
*4 本機にiPodを接続しているとき選べます（➡**34**ページ）。別売りのインターフェースアダプター：KS-PD100が必要です。
*5 本機にビクター製のD.PLAYERを接続しているとき選べます（➡**34**ページ）。別売りのインターフェースアダプター：KS-PD500が必要です。
*6 外部機器設定（➡**40**ページ）を「EXT IN」に設定すると、「EXT IN」が選べます。別売りの変換コード：KS-U57/KS-U58が必要です。

BAND：ソース（音源）がラジオのとき、押すごとにバンドが切り換わります。

3 を回して音量を調節する

音量を下げる　音量を上げる

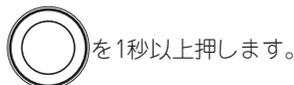
調節範囲は「VOL 00」から「VOL 50」までの51段階です（初期設定「VOL 15」）。

● **音量を一時的に下げる**

を「ポン」と押します。

「ATT」が表示され音量が下がります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

● **電源を「切」にする**

を1秒以上押します。

電源が「切」になります。

● **車のエンジンキーが「OFF」でも次のボタンは、操作ができます。**

⏏：⏏（ディスク取出し）ボタン
ディスクの出し入れ

：（コントロールパネル取り外し）ボタン

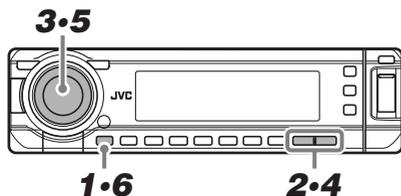
：DISPボタン
5秒間の時刻表示

ただし、電源を「入」にすることはできません。

〈お知らせ〉

● スピーカーの音量・音質調節は**42**ページをご覧ください。

時計を合わせる

- 各操作には時間制限があります。15秒以上間隔を空けないで次の操作を行ってください。

1 SEL を2秒以上押す

PSM*メニュー(➡**38**ページ)表示になり、前回選んだ項目が表示されます。

例:「DEMO」が表示されているとき

2 ►►I∧ を押して「CLOCK H(クロック)(時)」を選ぶ

3 を回して「時」を合わせる

4 ►►I∧ を押して「CLOCK M(クロック)(分)」を選ぶ

- ∨I◄◄ を押すと、「CLOCK H」に戻ります。

5 を回して「分」を合わせる

6 SEL を押す

元のソース(音源)の表示に戻ります。

SEL を押さないときは、15秒後に元のソース(音源)の表示に戻ります。

* PSMとは・・・
Preferred(プリファード) Setting(セッティング) Mode(モード)(優先設定モード)の略です。

〈お知らせ〉

- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- 時刻を合わせ直すときも手順**1**～**6**の操作をします。

ラジオを聞く

放送局を選ぶ

1 SRC を押してラジオ(バンド名表示)を選ぶ

ボタンを押すごとにソース(音源)が切り換わります(➡ ***12***ページ)。

2 BAND を押してバンドを切り換える

押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。

例:FM1のとき

ステレオ放送を受信すると表示されます

現在のバンド名が表示されます

リモコンで操作する

U を押してバンドを切り換えます。

3 ∨⏮ または ⏭∧ を押して選局する

周波数が下がります。 ∨⏮ ⏭∧ 周波数が上がります。

- **オート選局(シーク)**:
  「ポン」と押す。

  本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。
- **マニュアル選局**:
  1秒以上押して「M」を点滅表示させた後、「ポン・ポン」と押して選局する。
  - ・FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わり、押し続けると連続して変わります。

リモコンで操作する

を押すと、オート選局が始まります。

・ リモコンでは、マニュアル選局はできません。

〈お知らせ〉

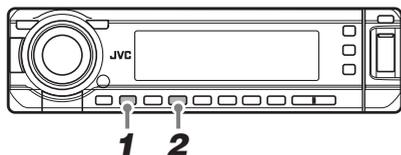
- 受信状態が悪いと、オート選局が自動停止しないことがあります。このようなときは、受信状態の良い場所に移動してもう一度
  ∨⏮ または ⏭∧ を押してください。
- マニュアル選局のモードは、選局の操作から5秒後に自動で解除されます。
- AM放送はモノラル受信です。

アンテナリモートについて

- 電動アンテナ装備車およびアンテナブースター装備車の場合は、
  アンテナコントロール電源 コードを車両側の対応する端子(アンテナコントロール)に接続してください。ソース(音源)をラジオにすると自動的にアンテナ(ブースター)側に電源が供給されます。「CD」や「CD-CH」などにソース(音源)を切り換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。

  (アンテナコントロール電源 コードの最大コントロール電流は250mAです)

FM放送が雑音で聞きにくいときは

FMステレオ放送受信時に、電波状態が悪くて雑音が多いときは、FM放送のモードを切り換えます。

1 FM放送受信中に MODE を押す

「MODE」が点滅表示されます。

5秒以内に

2 8 MO 2 を押して「MONO」を選ぶ

8 MO 2 を押すごとに「MONO」と「MONO OFF」が交互に切り換わります。

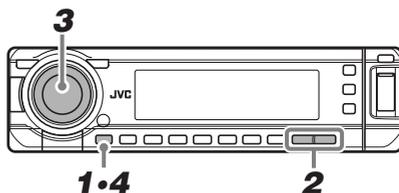
MO表示

MONO（モノ）：FM放送はモノラル受信となり雑音が少なくなります。通常の表示に戻ると表示窓に「MO」が点灯します。

MONO OFF（モノ）：FM放送はステレオ受信になります。ステレオ放送を受信中は表示窓に「ST」が点灯します。

もう一度MODEボタンを押すかまたは、5秒間何も操作しないと、通常の表示に戻ります。

IFフィルターを切り換える(FM放送のみ)

本機のチューナーは、電波の強さや隣接妨害波などの影響を軽減するために自動でIFフィルターを切り換えています。

1 SEL を2秒以上押す

PSMメニュー(➡38ページ)が表示されます。

15秒以内に

2 ∨⏮ または ⏭∧ を押して「IF BAND」を表示させる

15秒以内に

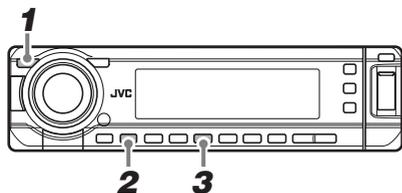
3 を回して設定を変更する

AUTO（オート）：隣接妨害波の有無によって、自動でIFフィルターの帯域幅を切り換えます。

WIDE（ワイド）：通常の広い帯域幅のIFフィルターに固定します。

4 SEL を押して設定を終了する

放送局を自動で記憶(メモリー)させる

電波の強いFM放送局を自動選局し記憶させることができます(SSM…ストロングステーションシーケンシャルメモリー機能)。
・ SSM機能を使うと、すでにそのバンドに記憶してあった放送局は取り消されます。

1 BAND を押して「FM1」または「FM2」を選ぶ

バンドごとにそれぞれ6つまで放送局を記憶させることができます。
例:FM1のとき

2 MODE を押す

「MODE」が点滅表示されます。

手順3に進んでください。

3 9 SSM 3 を1秒以上押す

「SSM」が点滅表示されます。

自動選局が始まり、周波数の低い順に最大6つまでのFM放送局を数字ボタンの1〜6に記憶していきます。

すべての記憶が終わると、数字ボタンの「1」に記憶された放送局が表示されます。

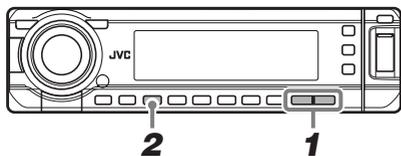
〈お知らせ〉

- 放送局が6局より少ないときは、記憶されなかった番号には以前の記憶内容が残ります。
- 受信状態が悪いと、うまく記憶されないことがあります。よく受信できる所に移動してから操作してください。
- AM放送のときはSSM機能が働きません。

放送局を選んで記憶(メモリー)させる

SSM機能を使って自動で記憶させるほかに、放送局を選んでから1局ずつ手動で記憶させることもできます。

- 数字ボタンの記憶順を変えたり、新しい放送局を追加するときなどに便利です。
- この操作は、SSM機能で放送局を記憶させた後にしてください。FM放送の場合、あとからSSM機能を利用すると、記憶させた放送局が取り消されることがあります。
- AM放送は、この手順で放送局を記憶(メモリー)させてください。

例: FM放送の81.3 MHzを数字ボタン 7 EQ 1 に記憶させる

1 選局ボタンでFM81.3MHzを選局する

「放送局を選ぶ」のオート選局(シーク)またはマニュアル選局(➡ ***14***ページ)をご覧ください。

2 7 EQ 1 を2秒以上押す

「P1」が点滅表示され、放送局が記憶されます。

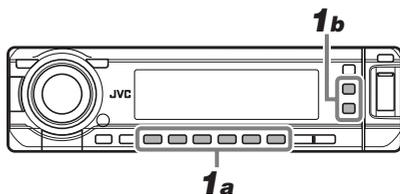
〈お知らせ〉

- 数字ボタンは必ず2秒以上押し続けてください。押す時間が短いと記憶されません。
- プリセット番号表示は、しばらくするとバンド名表示に戻ります。
- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、メモリー(記憶)した放送局は取り消されます。また、その他全ての設定は初期設定に戻り、時刻表示も「1:00」に戻ります。電源を接続したらもう一度設定し直してください。

放送局を呼び出す(プリセット選局)

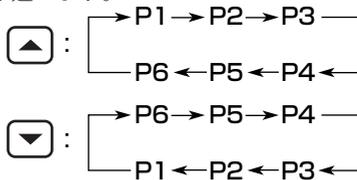
数字ボタン1〜6に記憶されている放送局をワンタッチで選局することができます。

1a 数字ボタンの1〜6のいずれかを押して選局する

7 EQ 1　8 MO 2　9 SSM 3　10 4　11 RPT 5　12 RND 6

〈お知らせ〉

- 数字ボタンは2秒以上押し続けないでください。

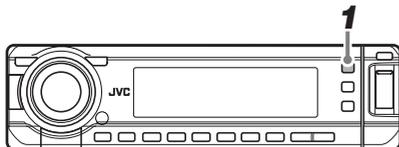
1b ▲または▼を押して選局する

押すごとにプリセットされている放送局が選べます。

リモコンで操作する

D を押すごとにプリセット番号が切り換わります。

ラジオを聞く（つづき）

道路交通情報を聞く

高速道路などの特定地域では、AM1620 kHzまたはAM1629 kHzで道路交通情報を聞くことができます。

1 [TI]を押す

TI*ボタンを押すと、ソース（音源）に関係なくAM1620kHzが受信できます。

AM1629kHzで道路交通情報を放送しているときは：

[∨⏮]または[⏭∧]を押します。もう一度押すと「AM1620kHz」に戻ります。

元のソース（音源）に戻すときは：

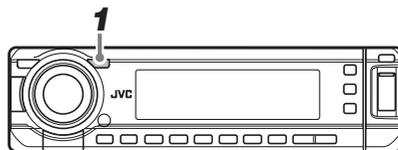
もう一度[TI]を押します。

〈お知らせ〉

- 本機では、放送局ごとに名前を登録することができます（➡ ***43***ページ）。AM1620kHzまたはAM1629kHzに放送局名を登録しているときでも、TIボタンを押して道路交通情報を聞いている状態では、登録した放送局名は表示されません。
- TIボタンを押して道路交通情報を聞いているときは、他のソース（音源）とは独立して音量調節ができますので、聞きやすい音量に調節してお使いください。
  もう一度TIボタンを押して元のソース（音源）に戻すと、音量も元に戻ります。

＊ TIとは・・・
　トラフィック　インフォメーション
　Traffic Information（交通情報）の略です。

放送受信中の表示内容を変える

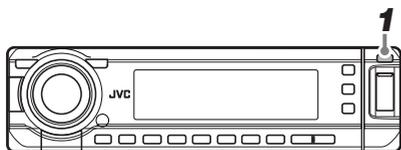
放送受信中に、表示を変えることができます。

1 [DISP]を押す

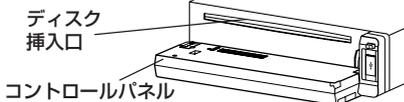
ボタンを押すごとに、次のように表示が切り換わります。

〈お知らせ〉

＊ ***43***ページの「放送局名/ディスク名を登録する」の操作で登録した放送局名が表示されます。放送局名を登録していないときは、「NO NAME」と表示されます。

ディスク/USBメモリーを再生する

ディスクを再生する

1 ⏏(ディスク取出し)を押す

コントロールパネルが開いてディスクの挿入口が現われます。

2 ディスクを入れる

途中まで入れると「ピッ」と音がして、ディスクが自動で中に引き込まれます。

3 コントロールパネルを閉じる

コントロールパネルを「カチッ」と音がしてロックする位置まで戻します。
ソース(音源)が「CD」になり再生が始まります。
再生を止めるまで、すべての曲がくり返し再生されます。

再生を止める:

を押して他のソース(音源)に切り換えます。

・ 再度ソース(音源)に「CD」を選ぶと停止したところから再生を再開します。

● 8センチCDの入れかた
8センチCDは、挿入口の中央から軽く押して入れます。

〈お知らせ〉

● 文字のある面に次のいずれかのマークが入っているディスクをお使いください。

● 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。ディスクを再生するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。
● 「CHECK」表示中は、ディスクを読み込んでいます。読み込みが終わると、再生が始まります。
● ⏏(ディスク取出し)ボタンを押すとディスクが出てきます。このときディスクを取らずにそのままにしておくと15秒後に再び中に引き込まれます。このとき、ディスクの再生は始まりません。

MP3/WMAディスクについて

● 多くの階層を持つディスクやCD-RWに記録したディスク、マルチセッションディスクでは再生が始まるまで時間がかかります。
● 階層化したフォルダのあるディスクは、8階層まで再生できます。
● ROOT(ルート)とは、現在開いているMP3/WMA*ディスクの最上階層のフォルダのことです。
● 同一階層内のフォルダやファイルは、ライティングソフトによってMP3/WMAディスクに書き込まれた順序で再生されます。一般的には名前の数字･アルファベット順に書き込まれるためフォルダ名、ファイル名の初めに数字(01A、01B…など)をつけると、再生順序を指定できます。

* WMA(Windows Media® Audioの略)は、米国Microsoft社の開発した音声圧縮フォーマットです。

〈お知らせ〉

● 詳しくは、別紙の「音楽用ファイルMP3/WMAについて」もご覧ください。

CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理がされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用CD(CD-DA)フォーマットで記録されたディスクおよびISO9660フォーマットで記録されているディスク上のMP3/WMAファイルが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CD-RWディスクは、反射率が他のディスクより低いため再生が始まるまで時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクは、高温多湿な環境に弱いため車内に放置すると、記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- CDテキストを入力したCD-R/CD-RWディスクは、テキスト内容により再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- CD-R/CD-RWディスクにCDテキストを入力した場合、お客様の使用環境(PCやCD-R/CD-RWドライブ、ライティングソフト)によっては本機に正しく表示されないことがあります。

CDテキストについて

本機でCDテキスト対応のCDを再生するとアルファベットや数字で「CDテキスト」データを表示します。

- 文字は英数字のみ表示されます。日本語表記(漢字、ひらがな、カタカナ)には対応していません。

ディスク挿入後の表示について

●音楽用CDのとき

総再生時間　総トラック数

7'40"　17

WMA MP3 CH DISC EQ USER ROCK CLASSIC POPS HIPHOP JAZZ

↓

CDテキスト情報(ディスク名/アーティスト名/トラック名)のスクロール表示

↓

再生経過時間　トラック番号

00'30"　01

WMA MP3 CH DISC EQ USER ROCK CLASSIC POPS HIPHOP JAZZ

●MP3/WMAディスクのとき

総フォルダ数　総ファイル数

F 19　T 144

WMA MP3 CH DISC EQ USER ROCK CLASSIC POPS HIPHOP JAZZ

どちらかが表示されます

↓

再生を開始するフォルダ名

ROOT

WMA MP3 CH DISC EQ USER ROCK CLASSIC POPS HIPHOP JAZZ

↓

TAG情報(アルバム名/アーティスト名/タイトル名)のスクロール表示

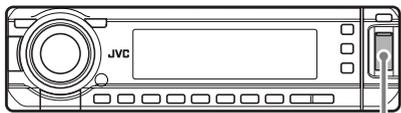
↓

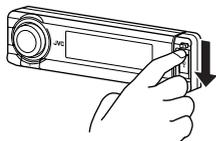
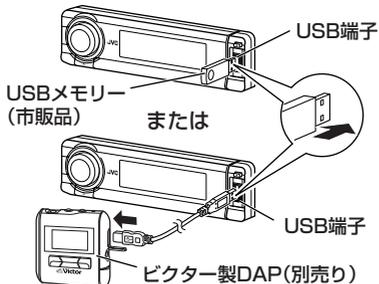
再生経過時間　ファイル番号

00'30"　01　F01

WMA MP3 CH DISC EQ USER ROCK CLASSIC POPS HIPHOP JAZZ

フォルダ番号

USBメモリー(またはDAP)を再生する

- USBメモリーまたはビクター製DAP(デジタルオーディオプレーヤー)「alneo(アルネオ)」シリーズを接続して再生できます(XA-HD500、XA-AL55を除く)。以下「USBメモリー」と総称して説明します。

1 USB端子のふたを開ける

2 USBメモリーを接続する

USBメモリーを接続すると、ソース(音源)が「**USB**」になり再生が始まります。
再生を止めるまで、すべての曲がくり返し再生されます。

再生を止める:

を押して他のソース(音源)に切り換えます。

- 再度ソース(音源)に「**USB**」を選ぶと停止したところから再生を再開します。

USBメモリーを抜く:

- **USBメモリーの再生を止めてから、USBメモリーを抜いてください。**

〈お知らせ〉

- 「CHECK」表示中は、USBメモリーを読み込んでいます。読み込みが終わると、再生が始まります。なおUSBメモリーの種類によっては、再生がはじまるまでに多少時間がかかります。
- ビクター製DAPを接続している場合、電源を「切」にしたあと、ふたたび「入」にしたときは、1曲目に戻って再生します。
- 別紙の「音楽用ファイル**MP3/WMA**について」もご覧ください。

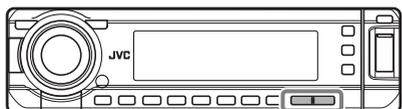
USBメモリーについて

- 本機は、USBメモリーに記録したMP3/WMAファイルを再生できます。
- USBメモリーは、容量が4GB以下(1パーティション)のものを推奨します。
- USBメモリーによっては、正しく接続・再生できないことがあります。
- 接続したUSBメモリーが運転に支障ないことを確認してください。
- 幅が20ミリ以上あるUSBメモリーは接続しないでください。▲(ディスク取出し)ボタンを押すことができなくなります。
- 重要なデータはあらかじめバックアップをお取りください。

USBメモリー接続後の表示について

ディスク/USBメモリーを再生する(つづき)

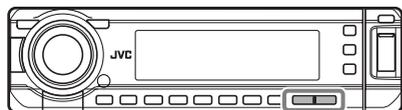
早送り/早戻しをする(サーチ)

再生する速度を変えて、聞きたいフレーズに素早く移動できます。

1 [∨⏮] または [⏭∧] を押し続ける

早戻し再生になります。 ←[∨⏮][⏭∧]→ 早送り再生になります。

ボタンを離すと、通常の再生に戻ります。

頭出しをする(スキップ)

前後の曲(ファイル)の頭にスキップすることができます。

1 [∨⏮] または [⏭∧] を押す

ボタンを押すごとに前後の曲(ファイル)の頭に移動します。

現在の曲の頭または、前の曲に移動します。 ←[∨⏮][⏭∧]→ 次の曲の頭に移動します。

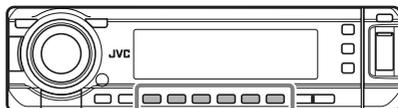
ダイレクト再生

音楽用CDの場合のみ

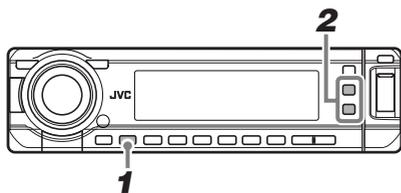
● 1〜12曲目を選ぶ

1〜12曲目までの聞きたい曲をダイレクトに選べます。

1 数字ボタン(1〜6)を押す

[7 EQ 1] [8 MO 2] [9 SSM 3] [10 4] [11 RPT 5] [12 RND 6]

- **1〜6曲目**を選ぶときは、数字ボタンの1〜6のいずれかを「ポン」と押します。
  例: 3曲目を選ぶ
  [9 SSM 3]を「ポン」と押します。
- **7〜12曲目**を選ぶときは、数字ボタンを1秒以上押します。
  例: 12曲目を選ぶ
  [12 RND 6]を1秒以上押します。
- **13曲目以上**を選ぶときは、「10曲ずつ曲を飛ばして選ぶ」(➡ ***23***ページ)をご覧ください。

● 10曲ずつ曲を飛ばして選ぶ

10曲単位で曲(ファイル)を飛ばして、聞きたい曲(ファイル)が素早くダイレクトに選べます。

1 MODE を押す

「MODE」が点滅表示されます。

5秒以内に

2 ▲または▼を押して曲(ファイル)を選ぶ

もっとも近い10の倍数(10、20、30…)の曲(ファイル)番号に変わります。その後はボタンを押すごとに、10ずつ曲(ファイル)番号が変わります。

▲ 次の10曲目に移動します。

▼ 前の10曲目に移動します。

詳しくは、右の「曲(ファイル)の選びかた」をご覧ください。

曲(ファイル)の選びかた

10曲(ファイル)ずつ移動する方法と、1曲(ファイル)ずつ移動する方法を組み合わせて、目的の曲(ファイル)番号を素早く選びます。

例：曲(ファイル)番号6の再生中に曲番号32を選ぶときは

MODE ➡ ▲ (3回押す) ➡ ▶▶I∧ (2回押す)

曲番号6 ➡ 10、20、30 ➡ 31、32

例：曲(ファイル)番号36の再生中に曲番号8を選ぶときは

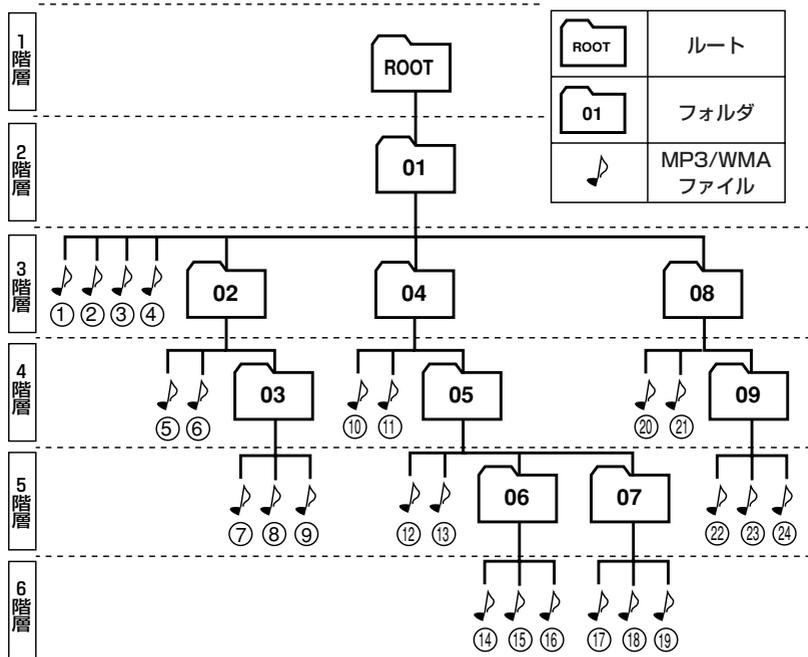
MODE ➡ ▼ (3回押す) ➡ ∨I◀◀ (2回押す)

曲番号36 ➡ 30、20、10 ➡ 9、8

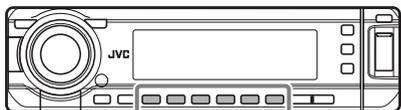
〈お知らせ〉

- 曲数が10曲に足りないときは、最後の曲が選ばれます。
- 音楽用CDの場合、最後の曲まで移動した後に次の曲を選ぶと、最初の曲に戻ります。
- MP3/WMAディスクの場合、前後10曲ずつダイレクトに選べるのは同じフォルダ内のファイルに限ります。

ディスク/USBメモリーを再生する(つづき)

フォルダとファイルの再生順序

フォルダをダイレクトに選ぶ

聞きたいファイルが含まれるフォルダがダイレクトに選べます。

この機能を使うためには、あらかじめフォルダの名前の最初の2文字に「01」から「12」までの数字をつけておきます。

例：フォルダ名「05ABC」を選ぶとき

1a [5] を押す

フォルダ「**05ABC**」の最初のファイルの再生が始まります。

例：フォルダ名「11WXYZ」を選ぶとき

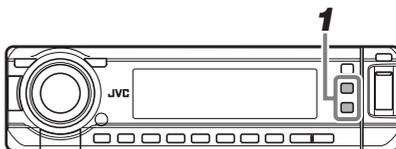
1b [5] を1秒以上押す

フォルダ「**11WXYZ**」の最初のファイルの再生が始まります。

〈お知らせ〉

- **MP3**/**WMA**ファイルが含まれていないフォルダは選べません。

次または前のフォルダにスキップする

ディスク内のフォルダの再生順序（例として、左ページの「01」、「02」、「03」…）に従って、フォルダを選ぶことができます。

1 [▲]または[▼] を押す

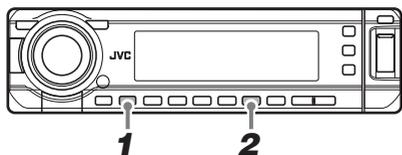
ボタンを押すごとにフォルダが切り換わり、選んだフォルダの最初のファイルの再生が始まります。

[▲] 次のフォルダに移動します。
[▼] 前のフォルダに移動します。

〈お知らせ〉

- MP3/WMAディスクの場合、最後のフォルダ（左ページの例では「09」）まで移動した後に次のフォルダを選ぶと、最初のフォルダ（左ページの例では「01」）に戻ります。
  また、最初のフォルダまで移動した後に前のフォルダを選ぶと、最後のフォルダに移動します。

ディスク/USBメモリーを再生する(つづき)

リピート再生

1 MODE を押す

「MODE」が点滅表示されます。

例: 音楽用CDのとき

5秒以内に

手順**2**に進んでください。

2 5 を押す

リピート再生のモードが表示されます。

5 を押すごとに、リピート再生のモードが切り換わります。

- 音楽用CDのとき

TRK RPT：現在の(または指定した)曲をくり返し再生
表示窓に「RPT」が表示されます

↕

RPT OFF：リピート再生を解除

- MP3/WMAディスク、USBメモリーのとき

TRK RPT：現在の(または指定した)ファイルをくり返し再生
表示窓に「RPT」が表示されます

↓

FLDR RPT：現在の(または指定した)フォルダ内の全ファイルをくり返し再生
表示窓に「📁」と「RPT」が表示されます

↓

RPT OFF：リピート再生を解除

ランダム再生

1 MODE を押す

「MODE」が点滅表示されます。

例: 音楽用CDのとき

手順***2***に進んでください。

2 12 RND 6 を押す

ランダム再生のモードが表示されます。

12 RND 6 を押すごとに、ランダム再生のモードが切り換わります。

● 音楽用CDのとき

DISC RND :CD内の全曲をランダムに再生
表示窓に「◉」と「RND」が表示されます。

↕

RND OFF :ランダム再生を解除

● MP3/WMAディスク、USBメモリーのとき

FLDR RND :フォルダ内の全ファイルをランダムに再生
表示窓に「📁」と「RND」が表示されます。

↓

DISC RND :ディスク内の全ファイルをランダムに再生
表示窓に「◉」と「RND」が表示されます。

↓

RND OFF :ランダム再生を解除

再生中の表示内容を変える

1 DISP を押す

ボタンを押すごとに、次のように表示が切り換わります。

・音楽用CDのとき

*1 CDのときは、ディスク名を入力すると表示されます。入力する前は「NO NAME」と表示されます。ディスク名の入力については***43***ページの「放送局名/ディスク名を登録する」をご覧ください。

*2 トラック名は**CD テキスト**のみ表示されます。

〈お知らせ〉

- 8文字より長い名前を表示する場合は、スクロール表示されます。DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます。
- スクロール表示は、自動で1回スクロールする設定「ONCE(ワンス)」(お買い上げ時の状態)になっています。「AUTO(オート)」(自動)または「OFF(オフ)」(切)に変えることもできます(➡ ***39***ページ)。

・MP3/WMAディスク、USBメモリーのとき(TAG DISP設定が「Off」のとき)

*3 TAGのあるファイルのときは、TAG DISP設定(➡ ***40***ページ)を「TAG ON」にするとアルバム名/アーティスト名が表示されます。

〈お知らせ〉

- 文字は英数字のみ表示されます。日本語表記(漢字、ひらがな、カタカナ)には対応していません。
- 対応以外の文字が入力してあると、正しく表示されません。

ディスクの盗難防止

本機に挿入したディスクを取り出せなくすることができます。

を押したまま

を同時に2秒以上押す

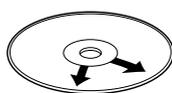
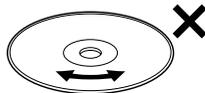
- 「NO EJECT」と点滅表示され、ディスクの取り出しができなくなります。▲（ディスク取出し）ボタンを押すとディスクの挿入口が現れますが、ディスクは出てきません。

- **ディスクの盗難防止機能を解除する**
  もう一度、盗難防止の設定と同じ操作をすると、「EJECT OK」と点滅表示され、ディスクの取り出しができるようになります。

〈お知らせ〉

- リセットボタンを押すと盗難防止機能は解除されます。

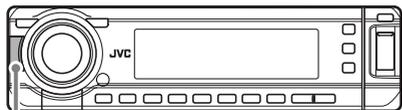
ディスクのお手入れ

ディスクを挿入する前に、再生面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側にふく。

連続したキズは音飛びの原因になります。

- **シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。**

CDチェンジャー(別売り)のディスクを聞く

準備 ● CDチェンジャー内のマガジンに聞きたいディスクを入れておきます。

全曲再生(全ディスクのくり返し再生)

1 SRC を押してソース(音源)を「CD-CH」にする

ボタンを押すごとにソース(音源)が切り換わります(➡ ***12***ページ)。

本機にCDチェンジャーを接続しているとき選べます。「EXT IN」設定を「CHANGER」に設定します(➡ ***38***、***40***ページ)。

・**音楽用CDのとき**
最初のCDの1曲目から再生が始まります。

CDテキスト情報*(ディスク名/アーティスト名/トラック名)のスクロール表示(CDテキストのときのみ)。

再生経過時間　トラック番号

ディスク番号

・**MP3ディスクのとき**
ファイルチェック後、最初の**フォルダ**のファイル1から再生が始まります。

フォルダ名

フォルダ番号

TAG情報*(アルバム名/アーティスト名/ファイル名)のスクロール表示(TAG DISP設定が「TAG ON」のとき)。

再生経過時間　ファイル番号

ディスク番号

* 文字は英数字のみ表示されます。日本語表記(漢字、ひらがな、カタカナ)には対応していません。

● **本機でコントロールできるチェンジャーについて**
・CH-MPシリーズのMP3チェンジャー
・CH-XシリーズのCDチェンジャー(CH-X99を除く)

KD-MKシリーズのCDチェンジャーは、コントロールできません。

● 再生をやめる

SRC を押して、他のソース(音源)に切り換えます。または電源を「切」にします。

〈お知らせ〉

● MP3ディスクの再生は、MP3チェンジャーを本機に接続しているときに限ります。
● 多くの階層を持つディスクやCD-RWに記録したディスク、マルチセッションディスクでは再生が始まるまで時間がかかります。
● 階層化したフォルダのあるディスクは、8階層まで再生できます。
詳しくは、MP3チェンジャーに付属の「音楽用ファイルMP3 Q&A集」をご覧ください。

ディスク再生中の表示内容を変える

DISP を押します。

押すごとに表示窓の表示内容が切り換わります(➡ ***28***ページ)。

ディスクを選ぶ

1 数字ボタン(1～6)を押す

・1～6枚目を選ぶときは、数字ボタンの1～6のいずれかを「ポン」と押します。
例：3枚目を選ぶ　：［9 SSM 3］を「ポン」と押します。

・7～12枚目を選ぶときは、数字ボタンを1秒以上押します。
例：12枚目を選ぶ：［12 RND 6］を1秒以上押します。

選んだディスクの最初の曲(ファイル)の再生が始まります。

リモコンから操作する

［D］または［U］を押すごとにディスクが切り換わります。

早送り/早戻しをする(サーチ)

再生する速度を変えて、聞きたいフレーズに素早く移動できます。

1 ［∨⏮］または［⏭∧］を押し続ける

ボタンを離すと、通常の再生に戻ります。

リモコンから操作する

を押し続けます。

頭出しをする(スキップ)

前後の曲(ファイル)の頭にスキップすることができます。

1 ［∨⏮］または［⏭∧］を押す

押すごとに前後の曲(ファイル)の頭に移動します。

リモコンから操作する

［R / F］を押します。

10曲ずつ曲を飛ばして選ぶ

MP3対応チェンジャーのみの機能です。

1 ［MODE］を押す

「MODE」と点滅表示されます。

5秒以内に

2 ［▲］または［▼］を押して曲(ファイル)を選ぶ

もっとも近い10の倍数(10、20、30…)の曲(ファイル)番号に変わります。その後はボタンを押すごとに、10ずつ曲(ファイル)番号が変わります。

〈お知らせ〉

- 曲数が10曲に足りないときは、最後の曲が選ばれます。
- MP3ディスクの場合、前後10曲ずつダイレクトに選べるのは同じフォルダ内のファイルに限ります。

CDチェンジャー(別売り)のディスクを聞く(つづき)

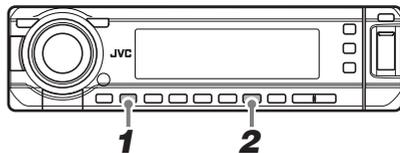
次または前のフォルダにスキップする

MP3ディスクのときのみ使用できます。

1 ▲または▼を押す

ボタンを押すごとにフォルダが切り換わり、選んだフォルダの最初のファイルの再生が始まります。

リモコンから操作する

D または U を2秒以上押します。

リピート再生

1 MODEを押す

「MODE」が点滅表示されます。

5秒以内に

2 11 RPT 5を押す

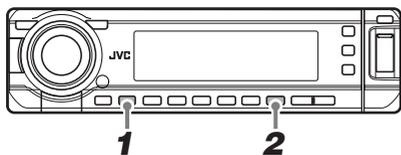
11 RPT 5を押すごとに、リピート再生のモードが切り換わります。

● 音楽用CDのとき

- **TRK RPT**：現在の(または指定した)曲をくり返し再生
  表示窓に「RPT」が表示されます
- **DISC RPT**：再生中のディスクの全曲をくり返し再生
  表示窓に「ディスク」と「RPT」が表示されます
- **RPT OFF**：マガジン内の全ディスクをくり返し再生

● MP3ディスクのとき

- **TRK RPT**：現在の(または指定した)ファイルをくり返し再生
  表示窓に「RPT」が表示されます
- **FLDR RPT**：現在の(または指定した)フォルダ内の全ファイルをくり返し再生
  表示窓に「フォルダ」と「RPT」が表示されます
- **DISC RPT**：再生中のディスクの全ファイルをくり返し再生
  表示窓に「ディスク」と「RPT」が表示されます
- **RPT OFF**：マガジン内の全ディスクをくり返し再生

ランダム再生

1 MODE を押す

「MODE」が点滅表示されます。

2 12 RND 6 を押す

12 RND 6 を押すごとに、ランダム再生のモードが切り替わります。

● 音楽用CDのとき

DISC RND :再生中のディスク内の全曲をランダムに再生
表示窓に「◉」と「RND」が表示されます

↓

MAG RND :マガジン内の全ディスクをランダムに再生
表示窓に「RND」が表示されます

↓

RND OFF :ランダム再生を解除

● MP3ディスクのとき

FLDR RND :再生中のフォルダ内の全ファイルをランダムに再生
表示窓に「📁」と「RND」が表示されます

↓

DISC RND :再生中のディスクの全ファイルをランダムに再生
表示窓に「◉」と「RND」が表示されます

↓

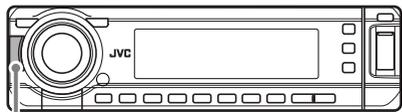
MAG RND :マガジン内の全ディスクをランダムに再生
表示窓に「RND」が表示されます

↓

RND OFF :ランダム再生を解除

iPod®やD.PLAYER(別売り)を再生する

準備 ● 本機の電源を入れる前にiPodまたはD.PLAYERを接続しておきます。

全曲再生（全ファイルのくり返し再生）

1 SRC を押してソース（音源）を「IPOD」または「D.PLAYER」にする

ボタンを押すごとにソース（音源）が切り換わります（➡ ***12***ページ）。

本機にiPodを接続しているときには「**IPOD**」が、ビクター製のD.PLAYERを接続しているときには「**D.PLAYER**」が選べます。「**EXT IN**」設定を「**CHANGER**」に設定します（➡ ***38***、***40***ページ）。

ファイルチェック後、最初の**ファイル**から再生が始まります。

TAG情報*1（アルバム名/アーティスト名/トラック名）のスクロール表示（TAG DISP設定が「TAG ON」のとき）。

*1 文字は英数字のみ表示されます。日本語表記（漢字、ひらがな、カタカナ）には対応していません。

〈お知らせ〉

- iPodの接続には、別売りのインターフェースアダプター:**KS-PD100**が必要です。
- ビクター製のD.PLAYERの接続には、別売りのインターフェースアダプター:**KS-PD500**が必要です。
- iPodまたはビクター製のD.PLAYERの操作については、**KS-PD100**または**KS-PD500**の取扱説明書もご覧ください。
- iPodまたはビクター製のD.PLAYERを取り外すときは、必ず本機の電源をお切りください。
- iPodは、米国およびその他の国で登録されているApple Computer, Inc.の商標です。

再生中の表示内容を変える

DISP を押します。

押すごとに表示窓の表示内容が切り換わります。

再生を止める

1 ▼ を押す

もう一度押すと、止めたところから再生が始まります。

リモコンから操作する

D▼ を押します。

早送り/早戻しをする（サーチ）

再生する速度を変えて、聞きたいフレーズに素早く移動できます。

1 **を押し続ける**

早戻し再生になります。 ⏮ ⏭ 早送り再生になります。

ボタンを離すと、通常の再生に戻ります。

リモコンから操作する

を押し続けます。

頭出しをする（スキップ）

前後のトラックの頭にスキップすることができます。

1 ⏮ または ⏭ **を押す**

押すごとに前後のトラックの頭に移動します。

現在または前のトラックの頭に戻ります。 ⏮ ⏭ 次のトラックに進みます。

リモコンから操作する

を押します。

メニューからファイルを選ぶ

iPodまたはD.PLAYERのメニューからファイルを選ぶことができます。

- 操作には時間制限があります。5秒以上間隔を空けないで次の操作を行ってください。

1 ▲ **を押す**

メニュー選択モードになり、トップメニューが表示されます。

リモコンから操作する

U を押します。

2 ⏮ または ⏭ **を押してメニューの項目を選ぶ**

前の項目を選びます。 ⏮ ⏭ 次の項目を選びます。

リモコンから操作する

を押します。

3 ▼ **を押す**

選んだ項目が決定されます。

項目によっては、さらに詳細項目が表示される場合があります。
このようなときは、手順***2***と***3***をくり返して項目を決定します。

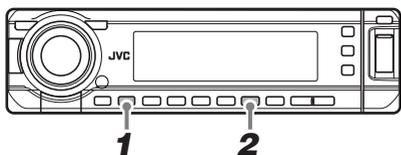
ファイルを決定すると、再生が始まります。

- ▲ を押すと1つ上の階層に戻ります。
- ⏮ または ⏭ を押し続けると10項目ずつ飛ばして項目が選べます。

リモコンから操作する

D を押します。

iPodやD.PLAYER(別売り)を再生する(つづき)

リピート再生

1 MODE を押す

「MODE」が点滅表示されます。

5秒以内に

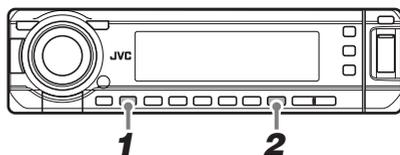
2 11 RPT 5 を押す

11 RPT 5 を押すごとに、リピート再生のモードが切り換わります。

ONE RPT :iPodまたはD.PLAYERのリピートモード「1曲」と同じです。
表示窓に「RPT」が表示されます。

ALL RPT :iPodまたはD.PLAYERのリピートモード「すべて」と同じです。
表示窓に「 」と「RPT」が表示されます。

RPT OFF :リピート再生を解除します。

ランダム再生

1 MODE を押す

「MODE」が点滅表示されます。

5秒以内に

2 12 RND 6 を押す

12 RND 6 を押すごとに、ランダム再生のモードが切り換わります。

ALBM RND*1 :iPodのシャッフルモード「アルバム」と同じです。
表示窓に「 」と「RND」が表示されます。

SONG RND*2**/ RND ON***3 :iPodのシャッフルモード「曲」、およびD.PLAYERのランダムプレイ「オン」と同じです。
表示窓に「RND」が表示されます。

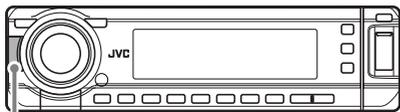
RND OFF :ランダム再生を解除

*1 ソース(音源)が「**IPOD**」の場合のみ選べます。メニュー選択モード(➡ ***35***ページ)で「ALBUMS」→「ALL ALBUMS」を選んだ場合にだけ機能します。

*2 ソース(音源)が「**IPOD**」の場合に表示されます。

*3 ソース(音源)が「**D.PLAYER**」の場合に表示されます。

他の機器の音を聞く

準備 ● LINE IN端子、チェンジャー端子に市販のカーAV機器を接続しておきます。
➡別紙の取付説明書参照

1 SRC を押してソース(音源)を「EXT IN」または「LINE IN」にする

ボタンを押すごとにソース(音源)が切り換わります(➡ ***12***ページ)。

例:EXT INのとき

EXT IN : CDチェンジャーの代わりに、別売りのKS-U57/KS-U58を使用して接続した機器の音を聞くとき選びます。「**EXT IN**」設定(➡ ***38***、***40***ページ)を「**EXT IN**」に設定しているときに選べます。

LINE IN : LINE IN端子に接続した機器の音を聞くとき選びます。

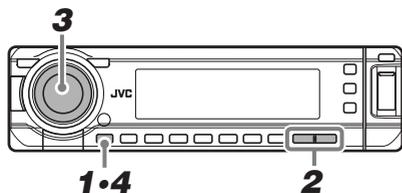
2 接続した機器を再生状態にする

・接続した機器に音量調節があるときは、FM放送の音量と同じ程度に聞こえるように調節してください。

〈お知らせ〉

- LINE INまたはEXT INに接続ができる他の機器は、**RCA**の2チャンネル出力端子付のものを用意してください。接続する機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく配線してください。
- LINE INの音量が**FM**放送より小さい(または大きい)ときは、**PSM**メニューの「**LINE ADJ**(ライン入力レベル調節)」で音量差を調節することができます(➡ ***40***ページ)。

SELボタンを使った各種設定と調節

PSMモードの設定方法

1 SELを2秒以上押す

PSMメニューが表示されます。

2 ∨I◀◀またはI▶▶I∧を押してPSMメニューの項目を選ぶ

➡ 下の「PSMモードの一覧」をご覧ください。

3 (ダイヤル)を回して設定または調節をする

各項目の設定の詳細は、***39***、***40***ページをご覧ください。

4 SELを押す

SELを押さないときは、15秒後に自動で終了します。

〈お知らせ〉

- 各操作は、15秒以上間隔を空けないでください。
- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、設定した内容は初期設定に戻ります。

PSMモードの一覧

設定内容の太字は出荷時の設定です。

モード	設定	設定内容	参照ページ
DEMO	デモ設定	**DEMO ON**、DEMO OFF	***39***ページ
CLOCK H	時刻設定(時)	**1**～12	***39***ページ
CLOCK M	時刻設定(分)	**00**～59	***39***ページ
LEVEL	レベルメーター設定	**ON**、OFF	***39***ページ
DIMMER	ディマー設定	**AUTO**、OFF、ON	***39***ページ
MUTING	消音設定	MUTING 1/2、**OFF**	***39***ページ
SCROLL	スクロール設定	**ONCE**、AUTO、OFF	***39***ページ
WOOFER	サブウーハー設定	LOW、**MID**、HIGH	***40***ページ
LINE ADJ	ライン入力レベル設定	**L.ADJ 00**～L.ADJ 05	***40***ページ
EXT IN*	外部機器設定	**CHANGER**、EXT IN	***40***ページ
TAG DISP	タグ表示設定	**TAG ON**、TAG OFF	***40***ページ
AMP GAIN	アンプ出力設定	**HIGH PWR**、LOW PWR	***40***ページ
IF BAND	IFフィルター設定	**AUTO**、WIDE	***40***ページ

* ソース(音源)が「CD-CH」、「IPOD」、「D.PLAYER」、または「EXT IN」のときは選べません。

PSMモードの機能説明

DEMO(デモ)

20秒以上操作をしないとき、自動でデモ表示をさせるかどうかを設定します。(初期設定:「DEMO ON」)

・DEMO ON　:デモ機能を「入」にします。
・DEMO OFF　:デモ機能を「切」にします。

CLOCK H/M(クロック)

「時(H)」「分(M)」ごとに、時刻を設定します。時計は12時間表示です。(初期設定:「1:00」)

LEVEL(レベル)

音量レベルメーターを表示させるかどうか設定します。(初期設定:「ON」)

・ON　:レベルメーターを表示します。

音量の大きさに合わせて、6段階に点灯します。

・OFF　:EQモードが表示されます。

DIMMER(ディマー)

表示窓の明るさを状況に応じて変えることができます。(初期設定:「AUTO」)

・AUTO　:車両のライトの「ON/OFF」に連動して明るさが変わります。
(本機の イルミネーションコントロール コードを車両のイルミ電源に接続しておきます)
・OFF　:明るさは変わりません。
・ON　:常時暗くなります。

MUTING(ミューティング)

市販のカーナビゲーションのボイスコマンド入力時または音声ガイド中に、本機の音声を一時的に消音(ミューティング)することができます。(初期設定:「OFF」)

・MUTING 1　: ミューティング コード(茶)を接続したあと、通常はこの位置で使います。ミューティングが正しく動作することを確認してください。
・MUTING 2　: MUTING 1ではミューティングが「入/切」しないとき。ミューティングが正しく動作することを確認してください。
・OFF　: 本機能を使用しないとき。またはMUTING 1/2ともミューティングが正しく動作しないとき、この位置にします。

なお、ミューティングによって音声が出ないときは、本機の表示窓に「MUTING」が点滅表示されます。

市販のカーナビゲーションの中には、本機能が正しく動作しないものもあります。

SCROLL(スクロール)

表示窓の文字表示(8文字以上)がスクロール表示されるときのモードを変えることができます。(初期設定:「ONCE」)

・ONCE: 名前表示を切り換えたときまたはDISPボタンを押したとき、1回スクロールする。
・AUTO: 一定間隔でスクロールをくり返す。
・OFF　: DISPボタンを1秒以上押したときだけスクロールする。

SELボタンを使った各種設定と調節(つづき)

PSMモードの機能説明(つづき)

WOOFER(サブウーハー)

接続したサブウーハーのカットオフ周波数を設定できます。低音が豊かに聞こえるカットオフ周波数を選びます。接続したサブウーハーに周波数切り換えがあるときは、それに合わせます。(初期設定:「MID」)

・LOW　:周波数85Hz以下を出力します。
・MID　:周波数125Hz以下を出力します。
・HIGH　:周波数165Hz以下を出力します。

LINE ADJ(ライン入力レベル)

LINE IN端子に接続した外部機器の入力レベルを「L.ADJ 00」から「L.ADJ 05」までの6段階で設定します。(初期設定:「L.ADJ 00」)

EXT IN(外部機器入力)

CDチェンジャー端子にKS-U57/KS-U58を使用して他の機器を接続したときは「EXT IN」に切り換えます。CDチェンジャー端子がEXT IN端子になります。(初期設定:「CHANGER」)

・CHANGER　:CDチェンジャーまたはiPodやビクター製のD.PLAYERを接続するとき選びます。
・EXT IN　:KS-U57/KS-U58を使用して他の機器を接続するとき選びます。

ソース(音源)が、「CD-CH」または「EXT IN」のときには、このモードは選べません。ラジオなど他のソース(音源)を選んでから設定を変更してください。

TAG DISP(タグ)

MP3/WMAディスクのTAG表示を表示させるかどうかを設定することができます。(初期設定:「TAG ON」)

・TAG ON　:TAG表示をする。
・TAG OFF　:TAG表示をしない。

AMP GAIN(アンプゲイン)

純正スピーカーを壊さないために、本機に接続しているスピーカーの最大入力ワット数に合わせて設定します。(初期設定:「HIGH PWR」)

・HIGH PWR:スピーカーの最大入力が50Wを超えるとき(VOL 00 ~ VOL 50)
・LOW PWR:スピーカーの最大入力が50W以下のとき(VOL 00 ~ VOL 30)

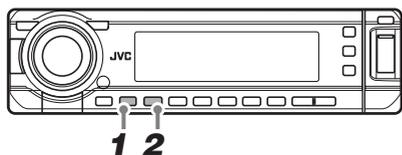
IF BAND(IFフィルター)

隣接妨害波の影響を軽減することができます。(初期設定:「AUTO」)

・AUTO　:隣接妨害波の有無によって、自動でIFフィルターの帯域幅を切り換えます。
・WIDE　:通常の広い帯域幅のIFフィルターに固定します。

C-EQ*の使いかた

EQパターンを選ぶ

本機には、あらかじめ6つのEQパターンが記憶されています。

● 選択可能なEQパターン

- USER　：ユーザー設定（フラット）
- ROCK　：ロック
- CLASSIC：クラシック
- POPS　：ポップ
- HIP HOP：ヒップホップ
- JAZZ　：ジャズ

1 MODEを押す

「MODE」が点滅表示されます。

5秒以内に

2 を押す

押すごとに、EQパターンが切り換わります。

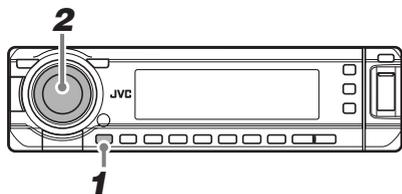
USER → ROCK → CLASSIC → POPS → HIP HOP → JAZZ → USER

〈お知らせ〉

- ご自分で音量·音質を調節すると（➡ **42**ページ）、そのとき選択されていたEQパターンに設定が記憶されます。
- リセットボタンを押すと調節した各EQパターンの設定は初期設定に戻ります。
- 各EQパターンの初期設定は次のようになっています。音量·音質の各設定項目については「音量·音質の調節」をご覧ください（➡ **42** ページ）。

EQパターン	音量・音質の設定 BAS	TRE	LOUD
USER	00	00	OFF
ROCK	+03	+01	ON
CLASSIC	+01	–02	OFF
POPS	+04	+01	OFF
HIP HOP	+02	00	ON
JAZZ	+02	+03	OFF

* C-EQとは：
Custom Equalizer（カスタム イコライザー）の略で等化器とも呼ばれ、周波数特性に変化を与える回路の総称です。

音量・音質の調節

●調節項目

- BAS*1 ：低音域の音量調節をします。
- TRE*1 ：高音域の音量調節をします。
- FAD ：フロントスピーカーとリアスピーカーの両方を接続しているとき、前後の音量調節をします。フロントスピーカーまたはリアスピーカーのみ接続しているときには「00」に調節してください。
- BAL ：左右の音量バランスを調節します。
- LOUD*1：高音域と低音域を強調することで、音量が低いときでもバランスのとれたサウンドがお楽しみいただけます。
- SUB.W ：接続したサブウーハーの音量調節をします。
- VOL ：通常の音量調節表示です。

*1「BAS」「TRE」「LOUD」の設定は、調節をするときに選ばれているEQパターンに記憶されます。

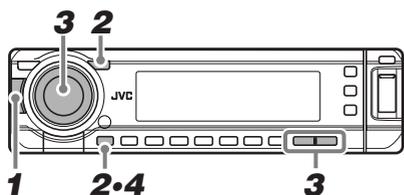
●初期設定と調節範囲

	初期設定	調節範囲
BAS (バス)	00	−06〜+06
TRE (トレブル)	00	−06〜+06
FAD (フェーダー)	00 (センター)	R06〜F06 (リア〜フロント)
BAL (バランス)	00 (センター)	L06〜R06 (レフト〜ライト)
LOUD (ラウドネス)	OFF	OFF/ON*2
SUB. W (サブウーハー音量調節)	00	00〜08
VOL (ボリューム)	15	00〜50 (00〜30*3)

*2「LOUD」を「ON」に設定すると表示窓に「LOUD」が表示されます。

*3「AMP GAIN」設定(➡ *40*ページ)を「LOW PWR」に設定すると最大音量が「30」になります。

放送局名/ディスク名を登録する

30局分/最大8文字の放送局名と30枚分/最大32文字のディスク名を登録しておくことができます。

1 文字を入力したいソース(音源)を選ぶ

・ FM、AM、CD、CD-CH(CDチェンジャー)のいずれかを選びます。
CD-CHのときはディスクを選んでください(➡ 31ページ)。

2 DISP を押しながら SEL を2秒以上押す

例:CDのとき

30秒以内に

手順3に進んでください。

3 で文字を選び、▶▶I∧ でカーソルを移動させて、文字を入力する

3-1 文字を選び… 3-2 カーソルを右に移す

30秒以内に ▶▶I∧

逆方向に戻す 順方向に進める

カーソルを左に戻すときは ∨I◀◀ を押す

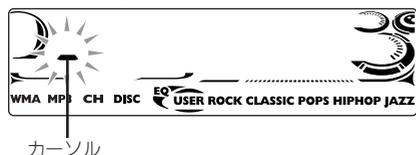
(3-1と3-2をくり返す)

・文字を間違えたときは、∨I◀◀ でカーソルを戻し回転ボリュームで正しい文字を上書きします。

・スペース(空白)を選んで ∨I◀◀ または ▶▶I∧ を押すと、文字を消すこともできます。

30秒以内に

4 SEL を押して入力を確定する

● 入力した文字を確定するときは、必ずSELボタンを押してください。押さないと確定されません。

登録可能な文字の一覧

A	B	C	D	E	F	G	H	I
J	K	L	M	N	O	P	Q	R
S	T	U	V	W	X	Y	Z	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9
−	/	<	>	(空白)				

登録した文字を一括消去する

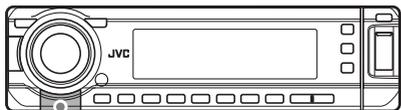
手順2のあとDISPボタンを1秒以上押すと、表示中の放送局またはディスク名を一括して消去することができます。このあと必ずSELボタンを押して確定してください。これにより削除されます。

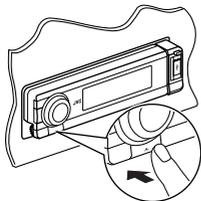
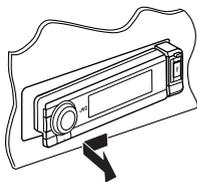
〈お知らせ〉

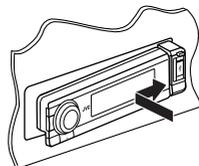
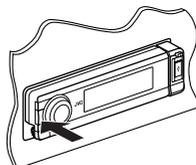
● CDテキストやMP3/WMAディスク、USBメモリーには、ディスク名の登録ができません。
● 31局目の放送局名または31枚目のディスク名を入力しようとしても、「NAMEFULL」が点滅表示されて入力モードに入ることはできません。この場合、すでに登録してある放送局名またはディスク名をあらかじめ消去してから登録してください。ディスク名を消去する場合、消去するディスクを入れ、左記の「登録した文字を一括消去する」に従って消去してください。
● 全てスペース(空白)を入力し、確定すると名称を削除することができます。

コントロールパネルの着脱

コントロールパネルを外す

コントロールパネルを取り外すことができます。
電源を「切」にしてから操作します。

1 を押す

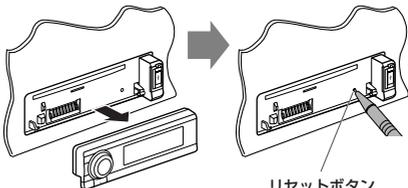
コントロールパネルのロックが外れます。

2 コントロールパネルをゆっくり本体から外す

コントロールパネルを取り付ける

1 コントロールパネルを本体の内側の溝に右側から合わせる

2 コントロールパネルの左側を静かに押して、本体に取り付ける

〈お知らせ〉

- お買い上げ時は、コントロールバネルが本体から外れています。

故障かな?と思う前に

－おや？故障かな？と思ったら…修理を依頼される前にもう一度お確かめください。－

症　　状	原　因　・　処　置
どのボタンを押しても正しく動作しない。	●雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。 ➡ コントロールパネルを外し(➡ ***44***ページ)、ボールペンなどで軽くリセットボタンを押す。 （時計の設定や放送局などの記憶内容が取り消され、工場出荷時の状態に戻ります）
電源を切っても「ATT」が点滅表示する。	●ATT動作になっている。 ➡⏻/I（電源）/ATTボタンを１秒以上押して電源を切る。
電源が入らない。	● 電源(ACCライン) のコードが接続されていないため。 ●車のエンジンキーが「OFF」またはACC「OFF」のため。 (➡ ***12***ページ)
ディスクの取り出しができない。(NO EJECT が点滅表示する)	●盗難防止状態になっている。 ➡SRCボタンを押したまま⏻/I（電源）/ATTボタンを同時に2秒以上押す。(➡ ***29***ページ)
ディスクを入れても音が出ない。	●音量を適度に調節する。 ●内部のレンズが結露（つゆつき）している。 ➡ラジオを聞くなどして1〜2時間待つ。 ●CD規格（CD-DA）に準拠しないディスクを使用している。 ➡ディスクのマークを確認する。(➡ ***19***ページ)
CD-R/RWディスクの再生やスキップ再生ができない。	●ファイナライズ処理がされていないため。 ➡ ファイナライズ処理したディスクと交換する。 または録音した機器でファイナライズ処理をする。
「ピッピッピッ」音のあとディスクが出てくる。	●ディスクが裏返しに入っている。 ➡文字のある面を上にしてディスクを入れ直す。
ディスクの出し入れのとき音が途切れる。	●この動作のときは、音声にミューティングをかけて雑音の発生を防いでいるためで故障ではありません。

故障かな?と思う前に(つづき)

症　　状	原　因　・　処　置
再生の途中でディスクが音飛びしたり停止する。	●CD-R/RWディスクにラベルなどが張ってあるため、温度上昇によりディスクが反っている。 ➡ラベルなどを張ったディスクは使用しない。(➡ ***7***ページ)
フォルダやファイル名が「__」表示になる。	●MP3/WMAディスク、USBメモリー、iPod、またはD.PLAYERで、フォーマットが異なっているまたはフォルダ名やファイル名が半角英数字以外で入力されている(➡ ***20***、***28***、***34***ページ)。
放送がうまく受信できない。 雑音が多くて聞きにくい。 AMラジオが受信できない。	●アンテナの接続を確かめる。またはアンテナが十分に伸びているか確かめる。 ●オートアンテナコントロール端子(またはアンテナブースター電源端子)に本機の アンテナコントロール電源 コード(青)を正しく接続する。 ●車両側のアンテナ線からアンテナコントロール端子が出ている。 ➡ 本機の アンテナコントロール電源 コード(青)をこの端子に接続する。 ●放送局の周波数に正しく合わせる。 ●携帯電話などを本機から離す。
MP3/WMAのフォルダ/ファイルが意図した順番に再生されない。	●MP3/WMAファイルの再生順序は、使用したライティングソフトによる書き込み順でディスクに記録されるため、パソコン上のフォルダ/ファイル順と異なることがあります(➡ ***19***、***24***ページ)。
MP3/WMAディスクの再生経過時間表示が実際の経過時間と異なる。	●MP3/WMAファイルがVBR(可変ビットレート)で作成されている。VBR(可変ビットレート)で作成されたファイルの時間表示には誤差が生じます。特に、早送り/早戻しをすると、経過時間が大きくずれることがあります。
「CHECK」が表示されたままUSBメモリーの再生が始まらない。	●いったん本機の電源を「切」にして、もう一度電源を「入」にする。
iPodまたはD.PLAYERの電源が入らない。	●正しく接続されているかどうか確認する。 ●ファームウェアを更新する。 ●iPodまたはD.PLAYERのバッテリーを充電する。
iPodまたはD.PLAYERの音声がひずむ。	●本機のイコライザーをフラットな状態にする(➡ ***41***ページ)。 ●iPodまたはD.PLAYERのイコライザーをフラットな状態にする。
iPod nanoの音声が出力されない。	●iPod nanoからイヤホンを取りはずす。

こんな表示のときは

表　示	原因・処置
NO NAME	●ディスク名や曲名が記録されていない。 ➡ディスク名または曲名が記録されているディスクまたはUSBメモリーを入れる。 ●放送局名が入力されていない。 ➡放送局名を入力する。
PLEASEとEJECTが交互に表示される	●ディスクの読み取りでエラーが発生したため。 ➡⏏(ディスク取出し)ボタンを押してディスクを取出し、入れ直す。または他のディスクを入れ直して本機が異常でないか確かめる。 ●CD-R/RW等のディスクに記録したデータが劣化している。 ●ファイナライズ処理がされていない。 ➡ファイナライズ処理したディスクを入れる。
00' 00"	●Mixed-CDを再生しようとしている。 ➡数字ボタンなどを押して2曲目以降にスキップする。
NOT SUPP	●ファイルのフォーマット(形式)が適切でない。 ➡正しいフォーマットのファイルを含むディスクまたはUSBメモリーを入れる。
NO FILES または NO TRACK	●フォルダに**MP3/WMA**ファイルが含まれていない。 ➡**MP3/WMA**ファイルを含むフォルダを選ぶ。 ●ディスクまたはUSBメモリーに**MP3/WMA**ファイルが含まれていない。 ➡**MP3/WMA**ファイルを含むディスクまたはUSBメモリーを入れる。 ●iPodまたはD.PLAYERに音楽ファイルが含まれていない。 ➡iPodまたはD.PLAYERに音楽ファイルを記録してから接続する。
READとFAILEDが交互に表示される	●USBメモリーが故障したか、正しくフォーマットされていない。または、USBメモリー内のファイルが破損している。 ●ファイルチェック中にUSBメモリーの着脱を繰り返したため。 ➡USBメモリーを接続し直す。
RESET 8	●**CD**チェンジャー、iPodまたはD.PLAYERとの通信エラーが発生したため。 ➡**CD**チェンジャー、iPodまたはD.PLAYERとの接続コードを確認する。

故障かな?と思う前に(つづき)

表示	原因・処置
RESET 数字○	●CDチェンジャー、iPodまたはD.PLAYER本体にエラーが発生したため。 ➡CDチェンジャー、iPodまたはD.PLAYERの取扱説明書をご覧ください。
NO IPOD または NO DP	●iPodまたはD.PLAYERとの通信エラーが発生したため。 ➡iPodまたはD.PLAYERとの接続コードを確認する。
ERROR 01	●D.PLAYER本体にエラーが発生したため。 ➡D.PLAYERを取りはずし、再度接続し直す。

ご注意

- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、記憶(メモリー)した放送局は取り消されます。時刻表示は「1:00」に戻ります。電源を接続したらもう一度始めから放送局や現在時刻を設定し直してください。

〈お知らせ〉

- 本機の故障や不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保　証　書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保　証　期　間
お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後６年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げ販売店**または別紙の**「JVCカーAV 製品サービス窓口案内」**をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

45～***48***ページの**「故障かな？と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生した**CD/USBメモリー**などのメディアも、一緒にご持参ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎（　　）　ー

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

CD/USBプレーヤー部

- ●型　式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム/USBメモリー
- ●サンプリング周波数：44.1kHz
- ●チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- ●周波数特性：5Hz～20kHz
- ●ダイナミックレンジ：98dB
- ●S N 比：102dB
- ●USBメモリー
  - フォーマット：FAT12/16/32形式
  - 推奨容量：4GB以下（1パーティション）
  - 再生オーディオフォーマット：MP3/WMA
  - 最大電流：500mA

チューナー部

- ●アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1（JASOプラグ仕様）

●FMチューナー部

- ●受信周波数：76.0MHz～90.0MHz
- ●実用感度：14.3dBf（1.43μV/75Ω）

●AMチューナー部

- ●受信周波数：522kHz～1,629kHz
- ●実用感度：27dBμ（22.4μV）

オーディオアンプ部

- ●最大出力：フロント　50W＋50W（4Ω、1kHz）
  リア　50W＋50W（4Ω、1kHz）
- ●適合インピーダンス：4Ω（4Ω～8Ωで使用可能）
- ●入力端子：DINジャック×1
  LINE IN（1系統）、1.5V/20kΩ
- ●出力端子：LINE OUT（2系統）、2.5V/1kΩ
  ：SUB WOOFER（1系統）2.0V/1kΩ

電源部・その他

- ●電源電圧：DC14.4V（11V～16Vで使用可能）
  マイナスアース車用
- ●取付寸法：幅178㎜×高さ50㎜×奥行152㎜
- ●外形寸法：幅178㎜×高さ50㎜×奥行170㎜
- ●質　量：約1.3㎏（付属品含まず）

付属品

- ・リモコン（RM-RK50） 1
- ・電池（CR2025） 1
- ・接続コード（16ピンコネクター） 1
- ・ネジ（M5×8㎜） 4
- ・皿ネジ（M5×8㎜） 4

別売りのオプション品

- ・RCA PIN コード：CN-505E（長さ0.5m）
  CN-510E（長さ1m）
  CN-520E（長さ2m）
- ・インターフェースアダプター：KS-PD100（iPod用）
  KS-PD500（ビクター製D.PLAYER用）
- ・変換コード：KS-U57（RCAプラグ）
  KS-U58（ステレオミニプラグ）

■ 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。
（品番は変更されることがあります）

索引

アルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

お手入れ

本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶき**してください。
汚れがひどいときは、水または中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶき**してください。

ご注意

- **シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。**

アンケートおよびユーザー登録のお願い

このたびは、ビクター商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
今後のよりよい商品の開発に反映させるために、アンケートおよびユーザー登録にご協力をお願いいたします。

● **下記アドレスのホームページより、ご回答ください。**

http://www.jvc-victor.co.jp/reg/car/

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。
転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 JVCカーAV お客様ご相談センター
別紙の 「JVCカーAV 製品サービス窓口案内」をご覧ください。	0120-977-846（フリーコール） FAX（027）254-8927 受付時間　10:00～18:00 （土、日、祝日、当社休日を除く） 〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

- ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについては、***49***ページをご覧ください。

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/
カーAV ホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/car/

日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

0106SKMMDWJEIN